

平塚一丁目南部町会

川口 俊明 さん

### 「荇原第三地域センター のその昔」

それはずいぶん昔、今から60年ほど前私が小学校低学年の頃の話からはじまります。

自宅のすぐそばに、庭園風の庭に鯉の泳ぐ豪邸がありました。

当時私たちはその豪邸の前の道路で遊ぶことが多かったこともあり、時折豪邸のご主人が家に招き入れてくれて鯉にエサをあげたのを記憶しています。

それから暫くするとその豪邸は取り壊され更地となります。

この更地で何年間かお祭りでの盆踊りをやっていました。私が今でも盆踊りで太鼓をたたくことがあるのは、この時当時のたたき手にたたき方を教えてもらったのがきっかけでした。

また、盆踊り会場には立派な舞台が作られ、プロの手品師や二代目コロンビアローズなる方が歌っていました。

工事ははじまってからかその前かは定かではありませんが、この更地に一時大きなくぼみが(直径にして5メートルほど)できたことがあり、大雨で水がたまり池状に。

友達と戸越公園でクチボソを釣ってきて放したり、プラモデルの船を浮かべて石ころを投げて沈めたりと、子供たちの遊び場でもありました。

## えばさんの

ひ

と

地域の方のリレーエッセイ。

やがてここに荇原第三出張所が完成します。その裏には公園ができ、当時はやりの子供向け遊具が設置されていました。記憶にあるのは、滑り台、ブランコ、吊り輪、回転ジャングルジム、円形4人乗りブランコ、砂場、そしてカメの置物が3体ほど。なので当時この公園をカメ公園と呼んでいました。

今では危険な遊びでしょうがブランコに立ち乗りでどれだけ飛べるかを競ったり、泥団子を作ってぶつけあったり。

また、この公園に土俵が作られ、相撲大会も何回か開催されました。私は5年生の時に小中学生の部に出場し、5位に入賞したのが当時ちょっとした自慢でもありました。

地元の子供たちにとっては戸越公園と並ぶ遊び場でした。

今、この場所は荇原第三地域センターと名を変え、地域の拠点として存在しています。

コロナ禍で地域のイベントは中止が続いていますが、一刻も早くコロナとうまくつきあう方法を見出し、子供たちを含む地

域住民をつなげる場となることを願っています。

◀若い世代に引き継ぎながら、お祭りを通して地域を盛り上げます

